

第3回

ミッション × 国際理解

どうして、「英語のミッション」と呼ばれているの？

「ミッション」の名で親しまれている北陸学院中学・高等学校は、1885年の創立以来キリスト教の教えに基づいた人格教育を受け継いできました。生徒と教職員が真摯に学校生活に向き合う中、一人ひとりの潜在能力が自覚され、表現されていく内に、進路を含めたキャリア形成を図るという独自の進路指導を実践しています。その丁寧な指導方法は高く評価され、少子化の下にあっても年々入学希望者を増やしています。本号では昨年より英語科を担当、意欲的な指導を進める中田朋樹教諭にお話を聞きます。

英語を通じて生徒に伝える、
知らないことを知る楽しさ。

北陸学院中学・高等学校
英語科教諭

なか だ とも き
中田 朋樹

Tomoki Nakada

1980年生まれ、東京都出身、2004年に東京大学法学部を卒業。国家公務員などを経て、2015年に教員免許を取得、茨城県の土浦日本大学高等学校で英語科講師に。2018年より北陸学院高等学校で英語科教諭として教鞭を執る。2019年に北陸学院中学校に移り、中高両校で英語科を担当。現在、中学校2年学級副担任、進路指導・総務担当、中学校テニス部・英語部顧問、国際教育委員会所属。

英語教育



毎日の授業の中で4技能（聞く・話す・読む・書く）をバランス良く習得します。電子黒板を使った授業や、音読、英作文などの取り組みを強化することにより、変化している大学入試に向けた対策はもちろん、生徒たちは英語を手段として用いながら国際理解を深めています。

英会話



外国人の教員による英会話の授業では、中学校、高校ともに、そのほとんどを英語で進行しています。英会話のスキルを高めながら、授業のなかで自国と他国の文化・表現方法の違いにふれるなど、生徒たちが楽しく英語を学べるように授業を組み立てています。

留学制度



中学1年生から高校2年生を対象にカナダでホームステイができる「短期海外研修制度」と、高校2年生を対象に約1年間ホームステイをしながら現地の高校生と過ごす「長期留学制度」、2つのプログラムを用意。生徒たちは異文化にふれ、視野を広げる機会になっています。

音読の学習や英作文添削で英語4技能の力を伸ばす

「英語のミッション」と呼ばれるだけあって、北陸学院には英語の学習に熱心な生徒が多いですね。本校受験の志望理由に英語を挙げる生徒も多く、昨春から本校で英語を教え始めたばかりの私は、そんな生徒たちを頼もしく思っています。昨年度は高校に籍がありましたが、本年度から中学校に移り、中高両校で教えています。高校の英語科は今、迫りくる大学入試改革に向けさまざまな対応策を講じています。その一つが、数年前から行っている「音読プログラム」。これは映像で流れる英文を、文字を追いつながら何十回となく音読する学習法です。声に出すことで脳への定着が促されると同時に、多様な英文がストックされて表現力が向上し、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能が鍛えられます。教室では電子黒板で行いますが、QRコードで簡単にダウンロードでき、いつでもどこでも学習できるのがメリットです。

生徒の利用率が高く、効果も上がったことから本年度は高校の全学年で音読のテストを開始すると同時に、中学校でも早速同様のテストを採用したところ。中高で教えているので、高校生に足りないものを中学の段階で強化するなど、6年のスパンでの指導が可能になります。これも継続教育ならではの長特ですね。また、今春から高校特別進学コース2・3年生を対象に、英作文のオン

ライン添削も始めました。ネイティブが指導してくれるので、表現力の育成とともに生徒のモチベーションアップにも繋がっている様子です。

主体的に学ばなければモチベーションは上がり、教わったことも素通りしてしまいます。生徒が受け身になることなく、授業中ずっとアクティブに楽しく学べる授業が私の目指すところで、聞いているだけの時間を極力減らし、電子黒板を活用しながら話したり、読んだり、考えたり。生徒が常に何かを能動的に行っている状況づくりに努めています。



また通常の授業では、外国人教員が頻りに異文化理解の時間を持つているのに加え、中学校の総合学習として「Let's Speak English」というプログラムも行っています。これは3学年縦割りの小グループで兼六園周辺に赴き、外国人観光客と英語で交流する授業です。生徒は多様な価値観の存在に気づくばかりか、自分の郷土にも誇りを持つようになり、視野を世界へと広がっていきます。

私の授業では、生徒が「わかりません」と思考をシャットアウトすることは認められません。どこがわからないのか、深く追及してわからないことをその場で調べさせ、辞書を使うことの習慣化などにも繋いでいます。私は子どもの頃から勉強が好きで、知ること、考えることをとても楽しく感じていました。「この楽しさを他の人も分かち合えれば」。そんな思いが私を教員の道へと歩ませたのでしょうか。生徒たちもぜひ、知ること、考えることの楽しさに気づいてほしいですね。勉強の楽しさがわかれば、人生は間違いなく充実するはず。やらされる勉強ではなく、自ら楽しむ勉強。それを生徒に伝えることこそが私の使命かもしれません。



北陸学院中学・高等学校

2019 OPEN SCHOOL 体験入学・クラブ体験のご案内

参加お申し込みは、各小中学校より配布予定のハガキかFAX、電話、本校ホームページよりお願いします。

北陸学院高等学校

▶体験入学
2019年7月26日(金)
▶クラブ体験
2019年8月21日(水)

●対象
中学3年生の男女生徒とその保護者

北陸学院中学校

▶体験入学
2019年7月27日(土)

●対象
小学5・6年生の男女児童とその保護者



先輩たちが
ご案内!

ミッションならでの、学ぶ環境!



グロリア・チャペル
毎朝の礼拝を行うチャペルです。創立100周年を記念して導入したパイプオルガンの音色に心を落ち着かせ、自分と向き合います。



電子黒板
すべての教室に設置。動画や音声、画像を使いながら授業を行うため、生徒の興味・関心を引くことができます。

学習スペース
生徒たちが、教員に質問しやすい環境を職員室前に整備。休み時間や放課後に活用しています。

中学生のお子様をもつ保護者の方へ

スカラシップ奨学金制度^{*1}………下記成績優秀者の3年間の授業料を無償^{*2}とします

①本校の入学試験で5教科の合計点が400点以上の入学者
②本校を推薦入試(専願・併願とも)で受験し合格した者のうち、3年次の9教科評定の合計が本校の定める基準以上の入学者

^{*1}①②ともに特別進学コース・総合進学コースどちらのコースを受験した場合も適用されます。

^{*2}1:本制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断となることもあります。
^{*3}2:入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。
^{*4}3:世帯収入によって金額が変わります。
^{*5}4:毎月の授業料から「高等学校等就学支援金制度」の支給額を差し引いた金額です。

従来	就学支援金が1倍の場合 ^{*3}	1年目	2年目	3年目
授業料 29,000円	高等学校等 就学支援金 -9,900円	高等学校等 就学支援金 -9,900円	高等学校等 就学支援金 -9,900円	高等学校等 就学支援金 -9,900円
	北陸学院高校 スカラシップ 奨学金制度を 利用した場合	スカラシップ 奨学金制度 ^{*4} -19,100円	スカラシップ 奨学金制度 ^{*4} -19,100円	スカラシップ 奨学金制度 ^{*4} -19,100円
		3年継続して 合計0円/月		

2018年度の大学入試結果から 合格実績で見る「進学力」

本校の進路指導は、生徒の志望や個性を尊重しながら実現へと導くことが特長です。入学時より実践的な講習会を開催するなど、早い段階から卒業後の姿を意識させ、進路に向かってどんな学習が必要なのかを具体的にしていきます。一人ひとりへのきめ細やかな指導により、現役での4年制大学進学率が4年連続70%を超えました。

パブリシティ企画

HokurikuGakuin Senior High School

北陸学院
中学・高等学校

◆コース紹介

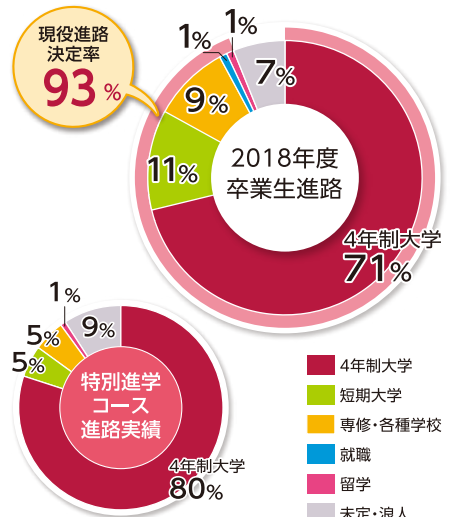
特別進学コース

確かなサポート体制で、推薦入試はもちろん、センター試験を含む一般入試にも対応できるハイレベルなコース。同志社大学への特別推薦や有名私立大学の指定校推薦も充実しており、多様化する入学試験制度に対応しています。

総合進学コース

主に推薦入試で4年制大学を目指すコース。全国のおよそ130大学に約650名の推薦枠を有し、北陸学院大学への特別推薦枠が充実しています。大学から就職まで幅広い進路の選択が可能なコースです。
※選択科目によって理系大学や看護系の学校への進学も可能です。

進路結果実績



◆2019年度大学入試結果

国公立大学

富山大学 2名
理学部 物理学科
理学部 生物圏環境科学科

石川県立大学 2名
生物資源環境学部 生産科学科

石川県立看護大学 1名
看護学部 看護学科

公立小松大学 1名
国際文化交流学部 国際文化交流学科

難関私立大学

同志社大学 10名
経済・社会・神・心理・政策・
生命医科・文化情報・法・理工

関西学院大学 9名
教育・国際・人間福祉・文・法・理工

明治学院大学 5名
国際・社会・心理・法

青山学院大学 1名
文学部

他にも!

生徒それぞれが
進路実現に向けて
羽ばたいています!

大阪学院大学、大阪芸術大学、金沢医科大学、金沢工業大学、関西外国語大学、京都外国語大学、京都産業大学、近畿大学、神戸女学院大学、女子美術大学、仁愛大学、東海大学、東京女子大学、東京造形大学、同志社女子大学、名古屋外国語大学、日本福祉大学、法政大学、立命館大学…など



英語暗唱で学んだ
表現する力

[高校3年生]
のざき えみ
野崎 衣美さん

学生インタビュー

私はESS部に所属していて、英語劇やスピーチコンテストに向けて日々練習を重ねています。2年生の時に、顧問の先生から北陸学院大学が主催するレシテーションコンテストへの参加を勧められました。北陸学院の小学生から大学院生までが対象で、「心に残った物語や詩の一編を英語で暗唱しよう」といったものです。本番では出場者一人ひとりの伝えたい想いを感じとり、とても感動しました。コンテストを通して表現することの大切さを学び、これからも意識して自分の使命を実現したいです。

月刊北國アクタス2019年8月号掲載記事

北陸学院中学校
北陸学院高等学校

〒920-8563 金沢市飛梅町 1-10
中学 / TEL.076-262-3012 FAX.076-262-3096
高校 / TEL.076-221-1944 FAX.076-224-4398



<http://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/>

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう